

鶴岡市総合計画審議会第5回社会基盤専門委員会（会議概要）

- 日 時 令和5年11月20日（月） 午後2時～3時40分
- 場 所 上下水道部 2階 大会議室
- 出席者 別紙席次表のとおり（8名出席）
- 傍聴者 なし
- 協議題等 3 報告・説明
(1) 第3回鶴岡市総合計画審議会における説明・協議内容について
→質疑応答・主な意見は下記のとおり
- 4 協議
(1) 第2次鶴岡市総合計画後期基本計画（社会の基盤）の案について
→主な意見は下記のとおり
- (2) その他
→主な意見は下記のとおり
- 5 その他
→主な意見は下記のとおり

3 報告・説明

- (1) 第3回鶴岡市総合計画審議会における説明・協議内容について

（事務局説明）

○委員長

今日が最後の専門委員会の審議会ということなので、最終的な案が事務局の方で用意されておりますので、皆さんから活発な議論をしていただき、できれば今日で最終的な形にはしたいと思っている。自由で活発な議論で、市の社会基盤のあり方に対して前向きに発言をしていく会議の時間になればいいかと思っております。どうぞよろしく申し上げます。

（事務局説明）

○委員長

それでは第3回鶴岡市総合計画審議会についてという資料について、事務局の方から説明報告をお願いします。

（事務局説明）

○委員長

ただいま変更点を中心に説明をしていただきました。
では、今日が最後ということで、皆さん提案された内容が反映されているかどうかでも結構ですし、また新たに何かお気づきになった点があれば、また議論の素材にしたいと思っておりますので、ご自由に発言をお願いします。

例えば 118 ページの高さの問題などはいろいろな議論が出たと記憶しておりますが、いかがでしょうか。

○委員

質問させていただきたいのですが、128 ページの経年化水道管路更新延長の数字ですが、現状値が 830 m、実績値が 8,669 m、成果指標が 6,380 mということで数値が実績値よりも成果指標の方が減っているのはどういうことか。

○庁内部会

当初の指標では最終目標として令和 10 年までに 6,380 m の管路更新を進める設定でしたが、既に実績値として 8,669 m を更新し、達成している現況となっております。

○委員長

委員、いいですか。

○委員

当初の目標だったのか。

○委員長

当初の目標で今はオーバーしているから、成果指標は変えなくてもいいのですか。ちょっと教えていただければと思います。

○庁内部会

KPI の実績値がすでにゴールとなる数字を超えている場合、目標値をさらに上げるような形で修正を加えるというのは一つ方法としてあります。この項目につきましてもすでに実績値がゴールとなる成果指標を超えていますので、数字を変更するか、あるいは新たな項目を設定するかについて検討してまいります。

○委員

119 ページなんですけれども、KPI で市街化区域と突然出てきましたが、これはどこかに米印で丁寧に説明が入った方がよいのでは。市街化区域って何の根拠で出て、どんなことなのか、都市計画上の市街化区域だと思いますけれども、市街化区域ってたぶん一般の人が聞いたらなんだろうこれとってしまう言葉だと思うので、説明を加えていただけるとありがたい。

○庁内部会

用語解説は改めて掲載することにします。

○委員長

見て不思議に思うのは、なぜ羽黒、櫛引とか朝日で人が集中して実態的に市街地になっているところは市街化区域になっていないのか疑問を感じる。あるいは市街化区域でなければ、都市計画税も発生してないのではないかなと思う。だから、ちょっとそれが何か、可能性がちょっとないのかなあとは思ってしまう。それは都市計画の問題でちょっとこの総合計画とは関係ないのかも分かりませんが、だから実態と都市計画の指定がちょっとずれている感じがあると思っていいのか。あるいは何か他にもっと理由があるのか。

(事 務 局 説 明)

○委員長

合併の経緯からいってちょっと、議論のレベルがそれぞれの地域で違っていたということなんですね。本当は立地適正化計画とか適用する際にもう1回議論したりしてもよかったんでしょうけれども、それは今回関係ない。でも、ここをきちんと説明していただくということでお願いします。

他にご質問とか、よくよく見ると、ちょっとなぜかなみたいなところもおそらくあると思うので、ご自由な発言をお願いします。私の印象では、今まで議論してきた内容がかなりきちんと反映していただいている印象はあるんですけども、どうでしょうか。___委員は高さのこととか中心部の居住誘導をどう考えるのかなど、いろいろ議論してきたんですけど、どうでしょうか。今回の表現とか。

○委員

細かいことを言えば、前回と前々回の議論の中で高さ整備の細かいところを、その後の専門委員会でしたか、中心市街地活性化基本計画に基づき関係する諸計画と連携して、その中でやられるということだったので、総合計画的のものとしては、よかろうと思う。

○委員長

他に皆さん、いろいろご意見が順番によろしいですか。
先程循環バスが意外にも満席ですよという表現、大変失礼いたしました。

○委員

内容的にはここに書いてあるとおり、公共交通ネットワークの形成とは、このバスに関する部分に関しましては、交通事業者も頑張ってます。

○委員

先程、委員長がお話しておりましたけれども、合併前に藤島とか温海とかは、都市計画区域が指定されていたけれども、私は羽黒に住んでいますけれども、三川橋を渡ったらすぐ羽

黒で、土地も安い。逆にナンバースクールだと土地は大体 10 万円前後の土地です。20 年してもまあまあ家も中古住宅で売れるんですけれども、例えば羽黒に建てる、櫛引、藤島だったら値段も落ちるんですよ。結局は、やはり利便性から考えたら、うち細谷ですが会社は日出ですけれども、あそこら辺でも、逆に言ったら駅にも近いし、利便性は橋さえ渡れば 10 分以内に駅に着く、詳しくはないですけれども、何年か前に聞いたのですけれども、三川橋を渡った瞬間に羽黒の地域は商業施設とか大きいものを建てられないというような制限がかかっている、建築業者の人から聞いて、そういうところ、橋さえ渡れば広大な田んぼがありますけれども、ああいうところをもっと活用できたらいいのかなと。

先程聞いた藤島に関しては、今いろいろな大きな工場、会社も結構あります。羽黒は手向から上の方は宿坊があり、なかなか羽黒も会社事業所とか少ないし、櫛引はやはり農業、林業というか果樹などが盛んですけれども、全国的に言ったらコンパクトシティと言ったらある中心を境にだんだん円のように大きくしていかないと、先程いろいろなところにまんべんなくやりましょうというのはありましたが、若いこれからの世代の人、だんだんあまりにも在の方には住まないというのは確定していると思いますので、利便性という意味でも。逆に都会の人が田舎に、新しく農家をしようという、お安く家を貸してやるというのも興味ある人はそうやって県というか地域によって町おこしをやっていると思います。堅苦しいのもいいですけれども、もうちょっと柔軟に何かいろいろ若い人の意見も聞いた方が。

私も会社をやっていますけれども、やはり先輩の話は先輩の話で何十年、何百年生きてきて、そういう知恵もあるので、いろいろ話していますけれども、ずれが少しあるのかなと。もう少し柔軟に、堅苦しいのは堅苦しいのであれですけれども、ぱっと家の近くのことでは何かあったときに何でこうできないんだろうと思うと、疑問だらけで結構あるんです。そういうところを皆さん、若者のそういうところまで叶えるというのはなかなかどうにもならないからいいやという考えもだいぶ多いと思うんですけれども、やはりそういうところも、行政としてもこういうことがあるんだよと、だれもこういうことをしてもいいんだよという感想なんかを展開できればもっとおもしろいのではないかなと、全然話は違いますが私からは以上です。

○委員長

現状、都市計画の仕組みからいくとちょっと橋の辺りは建てられない地域になっているわけですけれども、その辺はやはり合併前の羽黒の中でもいろいろ議論はあったのだらうと思いますし、これからも議論をしていかなければならないところではあります。

○委員

藤島だったらできるんですけれども、何か羽黒というのは何か。

○委員長

藤島は市街化区域がきちんとあるので、ちょっと説明をお願いします。

○庁内部会

市街化区域というのは都市計画区域の中で市街化を促進する区域です。人に住んでもらったり、建物を建ててもらったりすることを積極的に進める区域、その外側に市街化調整区域がある。市街化調整区域は極端にいうと市街化をできるだけしないようにするところです。

鶴岡の市街地のところまでは市街化区域だけれども、川を渡って農地が広がっているところを見ると、そこは市街化調整区域になっていて、そこに新たな建物を建てるというのは一定の制約がある。そういうところにどんどん宅地が広がっていくと市街地がどんどん広がってしまう、でも人口は減っているのだから、それはなるべく避けたい。コンパクトな市街地をつくるために市街化区域と市街化調整区域を定めています。

○委員

商業施設もなかなか建てられないというような。

(事 務 局 説 明)

○委員

遊技場とかそういうものもだめと。

○庁内部会

市街化区域の中でもそれぞれ用途というものがありますから、住居専用の用途であれば遊技場のようなものは建てられない。工場は建てられるところだけれどもそこには住宅は建てられない場合もあるとか、そういう用途の制限が市街化区域の中ではさらにあります。

○委員

なかなかその場所が調整になっているから、調整区域にこれ以上増えないから減っていく一方なんだと思う。服屋でも何でもいいけれども、人が集まる建物を建てようとしても、まちなかにはもう土地はない。空き地はあっても、基本的にある程度利便性が高い場所だったらそういうものができてもいいのかなど。大山は昔から古い町並み、城下町とかだったりあそこに何か建てたり、屋内運動スペースとか。昨日もそういうのでお話にしていたんですけども、ある利用している六十何歳の人も、毎回体育館の専用スペースを走っているけれども、「2、3人しかいなくて最高にいいんだよね」という、ジム、会員で高いお金を出しているけれども、「そっちもいいな」と。そういうのもっと広めればいいのに、聞いたのがたまたま昨日で、ランニングでいないから逆に誰もいなくて、走るのにすごい楽しいと言っていた。

(事 務 局 説 明)

○委員

アリーナの中を走れると昨日喋っていて、そこで運動しているんだよと言われて。

○委員長

アリーナのところは市街化区域ですか。大山は市街化区域がありますよね。あそこも入っているのか。

○委員

無料というのを聞いて、そういう情報がもう少し分かれば、うちらもお金を使わずにせっかく使えるところを使える。

○委員長

今の話を聞いて、羽黒は羽黒でやはりどこでコンパクトシティの場合、どういうところに住んでほしいのかみたいな議論も一旦羽黒地域で行っていく必要もあるのかなという気はすごくします。便利なのに、羽黒は特に川を挟んで市街地と接しているところもあるので、川を挟むといきなり調整区域となり、私はそれで、すごくきっぱりとどこかで分けなければならないのでいいのかなとは思いますが、地域の方がどう思うかというのは1回議論というか、これからも続けていければと。

○委員

あと外国の方も、1ヵ月の半分ぐらい出張するんですけども、やはり外人さんというのは観光ですごく来ています。先週の金土日、仙台1泊スーパーホテルに2万5,000円でした。2日で5万円。以前は8,000円ぐらい。半端でなく高いです。だから1万円が豪華というイメージでは2万5,000円か3万円で、それなりに円安も進んでいるとは思うんですけども、外国の方が結構多く、朝ごはんを食べている様子から、この人たちは日本にいるのかなというぐらい朝食も外国の方ばかりなんです。だから食文化というのは庄内というのはおいしい食材が多いく、東京銀座で2万円の寿司より庄内の3,000円、4,000円で本当においしいものを食べてもらって、宿泊施設も少ないし、花火でも赤川花火とかああいうのもありますけれども、結局1年前からホテル予約がとれない、そういうものをもう少し整備していかないと、人口が減っていったらどこからお金を落としてもらうのか、ああいうのももう少し。

○委員長

総合計画の中にも関係人口を増やそうみたいな議論はあるので、本当に増やすのであれば宿泊施設の方を増やせばいいみたいなのはきっと出るんでしょうけれども、そういう議論も必要かも。

○委員

アパートみたいなのもっと。

○委員

建築とはまったく関係のない分野の仕事なんですけれども、もしかしたら説明があったのか覚えていないのですが、一方通行見直し云々というのは（２）エの②ですかね、「一方通行の見直しや街路整備を進め、中心部の歩行者・・・」と言ったときに、一方通行の見直しだと車優先の方なのかなという話が出たと思ったんですが、これは結局このまま残すことになったのですか。

122 ページです。質問書の方でも触れていたと思うんですけど、「一方通行の見直しや街路整備を進め、中心部の歩行者・自転車優先の安全な移動空間の創出を図ります」とありますけれども、こちらの方は残すということだと思っんですけども、そういった安全安心な街路整備ではないですけども、歩行者とか自転車とかに繋がるということで残すという判断をされたのか。

○委員長

この辺の経緯も含めて説明いただければと思います。

○庁内部会

我々の考え方としては、一方通行の見直しは間接的に中心部の歩行者・自転車優先の安全な移動空間の確保にも繋がってくるということです。

○委員

ありがとうございます。

○委員

成果指標の数値が将来こういう鶴岡市になっていたらいいだろうなというイメージを実現するために数値化されたものだと思うのですが、すごく内容が複雑で、項目が多いので、全体ビジョンがイメージしづらい。どのように生かしたらいいのか分からなくて困っているなと個人的に思っていました。

○委員長

例えばこの KPI はとても分かりにくいなど、ありますか。

○委員

もっと抽象的なことでして、例えば表紙があって 1 ページ目、2 ページ目と見ていくと、例えば暮らしと防災、（１）（２）（３）とあるのですが、この項目一つずつが将来の理想のビジョンを叶えるために必要な材料だよということだと思っんです。ここを重点的に見ていくといいんだろうなと、市民の方たちが過ごしやすい街になるんだろうなとか、バランスの取れている街になるんだなと思っっていくのですが、例えば、ちょっと全然違う分野になる

のですが、例えば 11 ページで地域ビジョン策定件数の KPI が 20 件とか、婚姻数の KPI が 3.16 とかを見ると、これが実現していたときに他の施策とどのように何がどう関連してどうなっているんだろうというのが想像しづらくて難しいなど、個人的にそう思っています。

○委員長

非常に重要な視点で、市民の方がこの総合計画とどう関わっていくのかにも関係あるのですが、今の視点でコメントはありますか。どう市民の方とこういう計画の内容とか目標を共有していけるかという根本的なご質問だと思うんですけども。

○庁内部会

KPI の進捗については、市民の方にも分かりやすく提示すべきであるというようなご意見を審議会等でもいただいております。進捗については常に実績値をお示しし、市民の方にも分かりやすいようにご提示していければと考えております。

○委員長

委員の意見の根源的なところは、計画というものの持っている中央というか上からどうしてもまとめないといけないという計画の宿命みたいなものに対して、計画の恩恵を受けるはずの対象者である一市民側から、どうそれを評価できるのかというのは非常に根源的なことで、今すぐにはと思いますけれども、今後いろいろ変わっていくんですかね。専門である__委員から、この総合計画ですぐにということは。

○委員

委員がおっしゃるように、行政が出す文章は僕ら専門家が見ても難しいと思うことが結構あります。これを一般市民が見たときに全部読み通せるかといったらそういうものでもないですし、社会基盤、総合計画ってなんですかと言ったらまちづくりの憲法みたいなものですよね。この街をどのようにしたいかという憲法みたいなもので、実は僕も全然憲法は全然読んでいないんですけども、そういう文章で、やはり難しいところはすごくあると思うんですけども、もしこれを少しでも町の人に読んでもらいたいという意思が少しでもあるのであれば、総合計画のこの文章の読み方みたいなものが初めに 1 枚入っているだけでも、それでもちょっと読みやすくなるかなと思うんです。この文章の読み方とかこの文章の意図するところみたいなのが、この 1 ページの前に 1 枚ずっと入っているだけでも、結構大きく違うかもしれないなど。たぶんこの 1 ページから 5 ページまで永遠と連なるストラクチャーを見せられると、これはなんか大変な文章かなと思うけれども、でも目標としているところはそんなに難しいことを言っているわけではなくて、結構その中で自分たちの目標を評価するための仕組みづくりがいろいろ書いてあるという文章だと思うので、僕からお願いするのは、もしかすると 1 枚ここに付け足す文章があるといいかなと感じる。

○委員長

ぜひ参考をお願いします。非常に難しい議論です。私も先程言ったことの繰り返しになりますが、計画の持っている宿命みたいなのがあって、どうしても総合的に全体を見て、ある意味、権力的な感じで見ないといけないという側面もあるけれども、そういう作り方はいけないという議論が 20 世紀の後半に出てきて、いろいろな捉え方があるけれども、なかなか根本的に変わってはいないのかなというのが私の感想です。やはり非常に難しい議論であるとは思いますが。

○委員

____ 委員や ____ 委員のお話を聞いて、ああなるほどと思ったことがあって、今までずっと議論を重ねてきましたけれども、数値を見てどうもピンとこなかった。前回は数値のご質問はさせていただいてはいたのですが、例えば 100 の数字が 88 だったり 110 だったり、多少変わったところで何が変わったのかなという感覚で、なんでかなと言うと、やはり昔は 10 年一昔と言いましたが今は 5 年一昔という時代ですから、それが 10 年先の目標・数値を決めたところで、それが果たして正しいのという感覚があるのでピンとこないんだなというところがありました。

今お話を聞いていて、市民目線からすれば、これを総合計画ですと、確かに全部目を通す人はいない。ではどうやって市民に周知させるかといったときに、例えばちょっと大変な作業かもしれませんが、市のホームページで、当然自分に関係のあるところに入ります。最初にホームページで総合計画が策定されましたといっても、それを開く人はそうそういないと思う。例えば子育て、自分が子育てのことを調べようといったときに入ったときに、子育てに関してはこういったことが計画されていて、こういった数字で市の方では取り組んでいます、というようなところを落とし込んでそれぞれのところに入れておくと、自分が関係あるところに目がいくのかなと。この作業は結構大変かもしれませんが、そんな感じで周知していただくと目につくのかなというようには思っていました。

すみません、マイクが回っている最中ですが、先程思って、質問すればよかったんですけども、128 ページの私前回質問させていただいた生活指標の住宅確保要配慮者数がかかなり多くなっているということでご説明いただいたときに、大手の企業が登録したためだよと。これは住宅セーフティネットを見ますと、住宅確保要配慮者の入居を拒まないというか、希望者がいれば誰でも入れますよと、その確保がこれだけでできていますよということですよ。大手の企業が言ってみると一般的にすごく高い会社になるかもしれませんが、賃料がものすごく高いんですけども、何と言いますか、そういった要配慮者が入りたいと言ったときに賃料の補てんといいますか、そういったものはあるのですか。

○庁内部会

住宅確保要配慮者ということで、物件としましては低所得の方に対して大家さんが家賃を低廉化する場合年間 48 万円を限度として、本来家賃との差額分を補助する制度があります。

また、1戸当たり200万円を上限として改修費に対する補助があります。

人気がある物件は一般の方々が入っているというのが現状で、実際に空いているという戸数としてはそんなに多くあるものではないです。

○委員

高いところに入りたいと言っても入れないというのであれば数字的に意味がないなと思ったものですから、ありがとうございました。

○委員長

鋭い指摘で、この辺の数字も、表現の仕方を考えた方がいいのかなと思いました。数字の専門家である___委員の意見、数字は上がっているけれども実態としては対応が難しいということであれば、何か注釈がいいのか、そういうことがあればという気がします。

○委員

先程私も社会基盤のところだけしか見ていなかったのですが、全体を通して見ると、先程委員が言われたとおり、非常に一般市民からは分かりづらいと思うので、全体的に、これ一個一個、単独で見るとそうなんですけれども、全体的に横刺しにした何か指標みたいなものが、それこそKPIみたいなもの。それぞれのKPIがいろいろ絡んでいると思うんですけれども、その婚姻数が増えるのも人口が増えるのも、住宅がどうのこうのなるのもすべて絡んでいる話だと思いますので、何か横刺しにできるような手法が見つからないかなと思ったところです。これを今回網羅するというわけではなくて、そういう横刺しにできるような指標が見えれば少し分かるようになってくるのかなということが1点。

あと、こういったものを作るときに、先程___委員が言いましたように憲法ということになると、一般市民に解説するには漫画で分かる鶴岡市みたいな、これを10ページくらいで、なんとなく全体像がつかめるようなものがあると良いのかなと思いました。

あと、最後に1点ですが、全国的にいろいろな災害が増えていまして、鶴岡市でも、西目地区の、もう1年になりますけれども、西目地区については私も一部当事者でありまして、実際の被害を被ったわけではないんですけれども、鶴岡市内、県とか国の事業等に絡むと思うんですけれども、特に温海地区などは土砂災害警戒区域で染まっているような、湯温海辺りなどはそうなっているので、そういうところを、今回西目地区が土砂災害になったことによって国も県も騒いでいたと思うんですけれども、それは鶴岡市としてどの辺までどのように調査して、今後この計画には整備を促進しますとありますけれども、総合計画なのでこの表現は良いとは思いますが、その辺、今この場で教えていただけると、土砂災害の急傾斜地とか、そういったところの進捗状況といいますか、どういうことを取り組んでいるのか教えていただければと思います。

○委員長

土砂災害のご質問からお願いします。

○庁内部会

県の土砂災害危険区域とかそういうところに関しては、主に山形県が主導となって進めているところがございます。ただ、鶴岡市の方では今年中にハザードマップの見直し等を進めているところがございますし、土砂災害警戒で特に危険なところというのは、当然住宅があるところが土砂災害に指定されているところですので、県の方も今年度はいろいろな地区をまわって、地権者の方に何かあったら情報提供をいただきたいというような話まではしているところがございます。

○委員長

それ以外に例えば漫画で分かるとか解説本、先程____委員の方からもありましたが。

○庁内部会

横刺しのKPIにつきましては、計画全体に係るようなKPIが必要ではないかというようなご意見を踏まえ、五つの加速化アクションに紐付けるようなKPIを設定できないか今検討させていただきます。

今後開催します、総合計画の企画専門委員会ですとか審議会の方でご議論させていただきたいと考えております。

○委員長

そういうことで、計画って総合的にやってきて、いろいろな工法でやってきたと思う。そこで横刺しという議論もありましたが、確か未来想像プロジェクトは横刺しのプロジェクトだということで、ただ、それが加わることでさらに複雑なっていて、さらにもう一つの加速化アクションも加わってきて三次元になっているようなところもあって、少し難しくはなっている。それだけ積み上げてきてこうなっているんだと思います。ただ、市民の方からすると、例えば子育てを今から考えている人にとってはこうです、5年前はこうだったけれども今はここまで良くなっている。さらに5年後には、こういうこともできます、ということを示してあげればいいのかという気はするんですけども、難しいとは思いますが。あるいは、高齢の人が5年前はこういう感じで暮らすしかありませんでしたが、今はここまで改善されてきていますとか、あるいはこの改善ができていませんとか、5年後にちょっとよくなるのではないのでしょうかとか、あるいは悪くなりますとか、それは言えないですが、でもそういうことを書くと良いのかなと。

この総合計画って私はすごいなと思ったのは、サブタイトルが「毎日、おいしい。ここで、暮らしたい」という、一市民の発言が総合計画のサブタイトルになっている。副題というか。それは珍しい、市民目線の計画を目指したはず。そういうことでお願いできないのかなと。

少し話が長くなってしまいますが、山形県出身の劇作家で井上ひさしさんなどは昔、だいぶ古い小説なので皆さんは知らないと思いますが、私たちの時代はよく「吉里吉里人」という独立した国をなんとなく山形の辺りを想定してあったのですが、そこでやはり独立した憲法を作ったりするんですが、そうすると行政の作った憲法とは全然違う分かりやすい言葉で書いているという、そんなのを思い出した、なかなか総合計画を分かりやすくするというのは本当に難しいと思うのだが、何とかそういうこともチャレンジしていただければと思いました。

中身については、いろいろ反映していただき九十数%はいつているのかなという気がしております。

それでは、議論の方はよろしいでしょうか。事務局の方にお返ししたいと思います。

それでは、こちらの議論はこれで終わります。よろしくお願いします。

○事務局

事務局からお願いがございます。今回最後の社会基盤専門委員会になるわけですがけれども、今回いろいろご意見があって手直しするような箇所がございます。例えば、122 ページの③の一方通行のところで表現を少し変えた方がいいのではないか、また水道の延長のKPIの最後の成果指標の見直しをしたらよいのでは等のご意見もございましたので、事務局と委員長とで少し見直しをさせていただいて、それを社会基盤専門委員会の意見として総合計画の方に掲載するというような形を取りたいと思いますが、皆さんいかがでしょうか。

ありがとうございます。それでは、委員長と事務局の方で精査してまいります。よろしくお願いします。

○事務局

それでは、これをもちまして第5回社会基盤専門委員会を終了させていただきます。皆さまどうもありがとうございました。

< 了 >